

ヤママユガ科の飼育日誌・その2(6月7日)

有峰森林文化村  
写真撮影:伊勢指導員

5月25日よりヤママユガ科3種、ヤママユ、ヒメヤママユとクスサンの卵を用い、孵化、脱皮、蛹化、羽化、産卵までの一貫した生活環、生態メカニズムの解明に挑戦するため、有峰ビジターセンター(VC)にて飼育を始めています。下図のように6月7日現在の孵化率、ヤママユは22.7%、ヒメヤママユは91.8%となりました。孵化したヤママユ及びヒメヤママユとも、ミズナラの新葉を捕食し、令を重ね、成長が早いものでは、4令に達しています。ヤママユの4令幼虫の体長は、1.8cm、ヒメヤママユの3令幼虫の体長は1.6cmになっています。一方、クスサンは6月7日現在でも卵塊のままで、孵化した個体はいません。クスサンは晩秋に成虫が発生します。孵化のタイミングに種差があるのでしょうか?今後も飼育状況について継続していきます。

種名	食樹植物	卵数	孵化数(6/7)	孵化率
ヤママユ	ミズナラ	76	17	22.7%
ヒメヤママユ	ミズナラ	85	78	91.8%
クスサン	—	91	0	0



飼育中のヤママユ4令幼虫



飼育中のヤママユ4令幼虫  
体長: 1.8cm(6月7日撮影)



飼育中のヒメヤママユ3令幼虫  
体長: 1.6cm(6月7日撮影)



飼育中のヒメヤママユ2令・3令幼虫  
体長: 0.8~1.6cm(6月7日撮影)



クスサンの卵塊  
大きさ 1.5mm (6月7日撮影)



飼育中のヤママユガ科  
(6月7日撮影)